

気象ビジネス推進コンソーシアムのご紹介

第9回気象ビジネスフォーラム
令和7年2月18日（火）

気象ビジネス推進コンソーシアム事務局
(気象庁情報基盤部情報利用推進課)



歩み続けて150年
防ぐ災害・守る未来

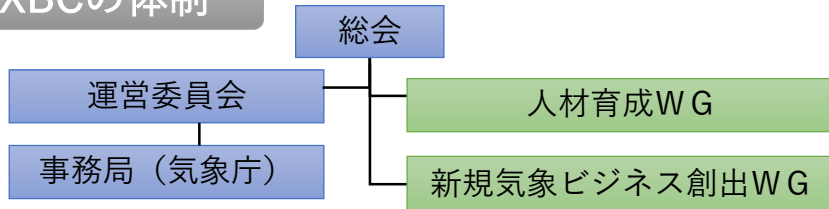


気象データを活用した新たなビジネスの創出に向け、**気象事業者**に加えて**情報通信、農業、小売、保険**など関係する**産業界**や**学識経験者**、**関係府省庁・地方公共団体**で構成される**産学官の連携組織**



設立：平成29年3月7日
会長：東京大学大学院情報学環 越塚登教授
会員数：設立時215
⇒ 1509（R7/2/10現在）に増加

WXBCの体制



▶ 人材育成WG

気象データをビジネスに活かすために必要となる能力、あるいは、気象データを基に企業の抱えるビジネスの課題解決やビジネスを創出できる能力を有する人材の育成を目指して活動。

▶ 新規気象ビジネス創出WG

参加企業のビジネスにより繋がるWGとすることを目的に、会員相互の情報提供や意見交換、交流を活発化させる取組を実施。

気象ビジネスフォーラム

気象データのビジネス利活用に関する講演・トークセッションや会員企業の取組紹介を実施（令和2～5年度はオンライン開催）



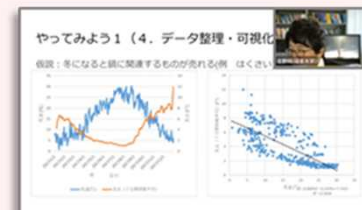
気象データのビジネス活用セミナー

気象データの知識やビジネスへの活用方法、活用事例について紹介（令和2年度からオンライン開催）



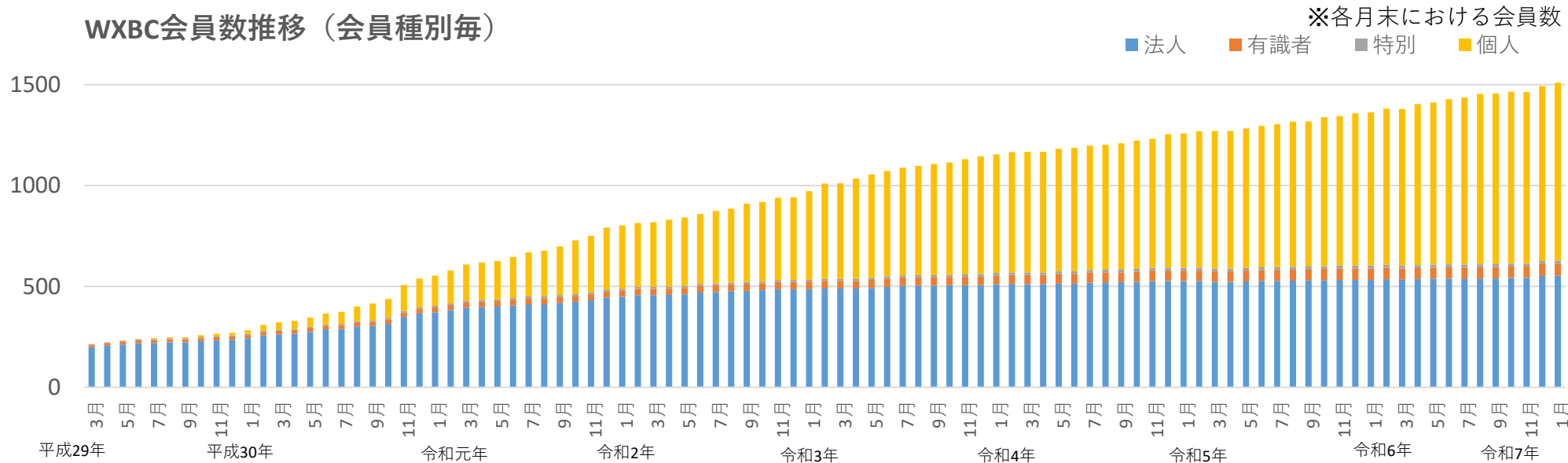
データテクノロジー研修

気象データをExcelやpythonなどを用いて分析する方法など、気象データをビジネスで活用するための技術を習得する研修を実施

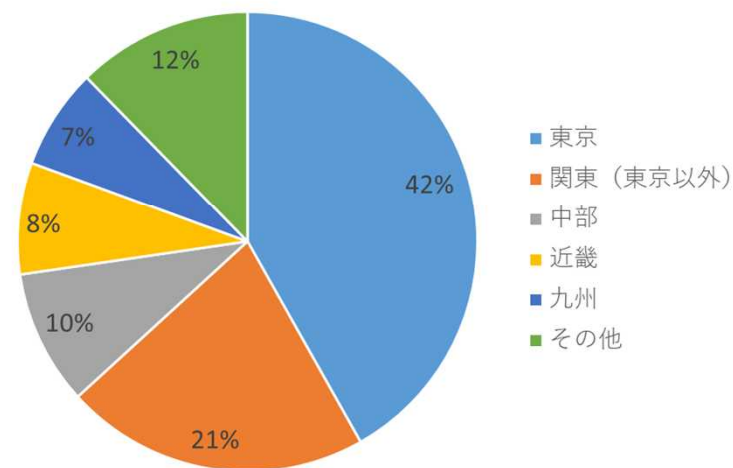


WXBC会員構成（令和7年1月現在）

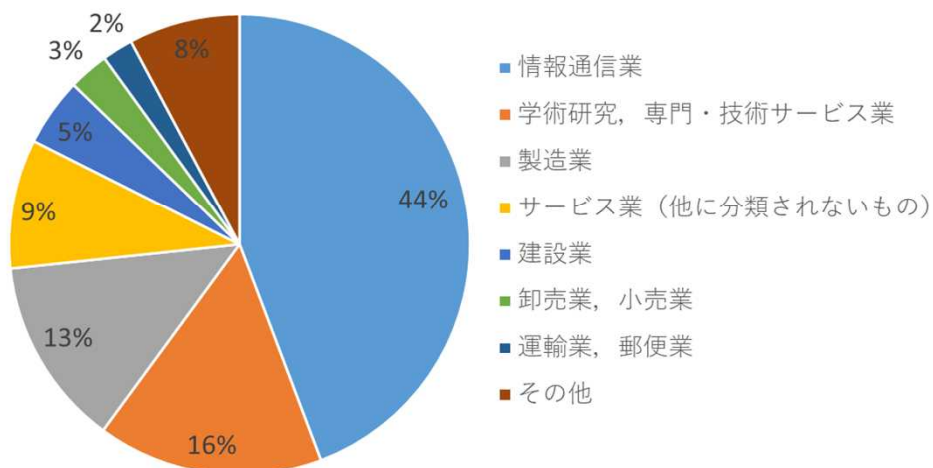
WXBC会員数推移（会員種別毎）



WXBC会員の地域別割合（R6.1）



WXBC会員の業種別割合（R6.1）



気象データアナリストとは、企業におけるビジネス創出や課題解決ができるよう、気象データの知識とデータ分析の知識を兼ね備え、気象データとビジネスデータを分析できる人材であり、民間企業・大学等が開講する「気象データアナリスト育成講座」を修了した者。気象の影響を大きく受ける企業の従業員が「気象データアナリスト」としてのスキルを身に付け即戦力として活躍し、業務に大きく貢献することが期待される。

気象データアナリスト活躍の場（イメージ）

需要
予測



過去の販売・顧客データ



気象データ

発注数の精度向上により
廃棄ロスの減少や底値で
仕入れるなど利益アップ

販売
促進



売上データやSNS



気象データ

店舗混雑予想情報や割引
サービスを顧客へ提供

物流



過去の出荷/入荷実績等



気象データ

荷物量・作業量を予測、
要員計画を最適化

気象予報士は？

気象
予測



例)
民間気象会社で
天気予報を作成

気象
解説



例)
テレビの天気予報
コーナーで解説

気象データアナリスト育成講座

- ▶ 「気象データアナリスト育成講座」とは、経済産業省「第四次産業革命スキル習得講座」（Reスキル講座）の認定を受け、かつ、気象庁が策定する「気象データアナリスト育成講座カリキュラムガイドライン」（※）に準じた講座で気象庁が認定したもの。
- ▶ 気象庁は令和3年2月に「気象データアナリスト育成講座」の認定制度を創設。令和3年6月に株式会社データミックス（現株式会社ピープルドット）、スキルアップAI株式会社（現スキルアップNeXt株式会社）の講座を初認定。令和6年10月時点で3者の6講座が開講しており、97名修了済、66名受講中。

※カリキュラムガイドライン：「気象」「データサイエンス」「ビジネス」についての知識や技術について整理したもの。

WXBCの協力のもと令和4年3月に第1回目の改訂を行った。以降は数年に1度、見直しを行う予定。 第9回気象ビジネスフォーラム 2025年2月18日

2024年3月に、WXBCと気象庁共同で「気象データ利用ガイド」を公開

- ・想定読者は主に企業
- ・ビジネスで気象データを活用するきっかけとなることを目指し、構成は以下の通りとしている

- 1) **活用事例集**で気象データの活用のイメージを持っていただく
- 2) 気象データ使ってみようと思ったときに、**基本的な考え方や研修教材、専門家**について確認できる
- 3) 実際に使おうと思ったときに**気象データの概要や入手方法**が確認できる

- ・利用事例へのリンク、データ利用の際に参考になるサイトへのリンク（気象庁やWXBCのサイトも含む）を多く掲載

「気象データ利用ガイド」サイト



<https://www.data.jma.go.jp/developer/weatherdataguide/>



入会金・年会費： **無料**

会員種別：法人会員、有識者会員、特別会員、個人会員

会員種別	法人会員	有識者会員	特別会員	個人会員
対象	民間企業等の組織（任意団体も可）	大学・研究機関の学識経験者	官公庁	個人
会員向けメーリングリストの受信・投稿	可	可	可	可
WXBCホームページ会員限定コンテンツの閲覧・利用	可	可	可	可
会員限定イベントへの参加	可	可	可	可
総会の議決権	あり	あり	あり	なし (出席は可能)
ワーキンググループへの参加	可	可	可	可

以下URLからお手続きください。
<https://www.wxbc.jp/enrollment/>



ビジネスに気象データを活用できる人材の育成に全力投球！

人材の裾野拡大のための広める活動

先導者育成のための深める活動

広める活動

【WXBC全体活動】

WXBC気象データの
ビジネス活用セミナー

気象データ分析チャレンジ！

地方展開

【人材育成WG特別企画】

オープンセミナー

WXBC版ジュニアセッション

深める活動

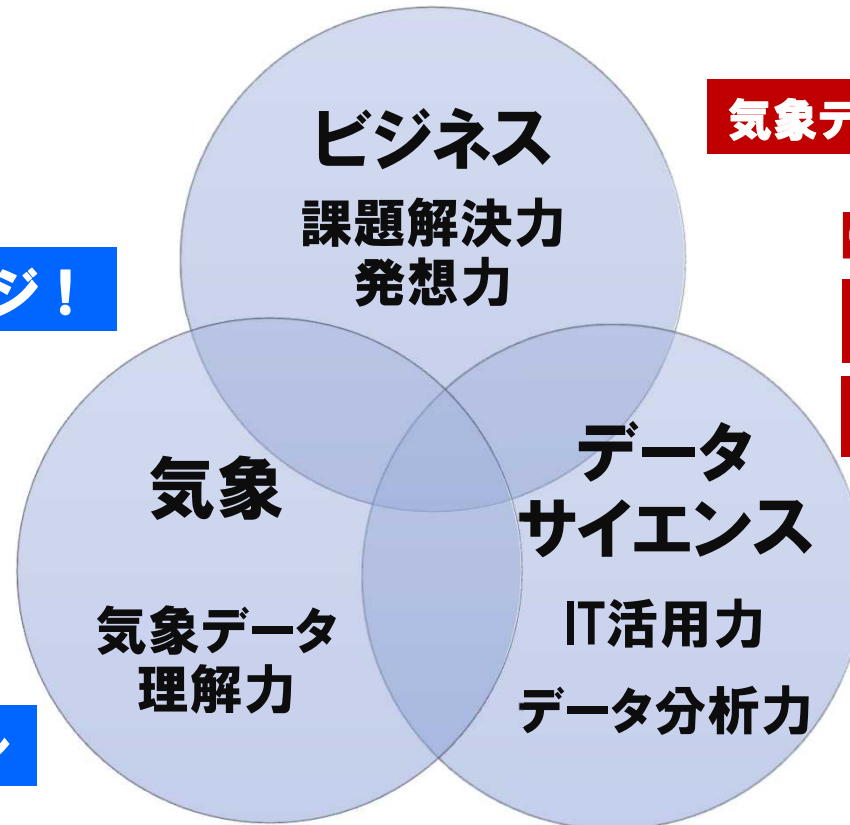
【外部研修機関】

気象データアナリスト育成講座

【人材育成WG内活動】

グループ別勉強会

お困りごと相談窓口



ビジネスへの気象データ活用に必要な3つのスキル



WXBC 人材育成WG

副座長

岩田 修です

越智 正昭です



グループ別勉強会

関心のある活動テーマにWGメンバーが集まり、
自主的に活動目標、活動方法、成果等を定め、
自律的に活動する場

現在、**6つの勉強会**が活動中！



多様な気象データの活用・ 高度利用で 日本農業を元気に！

農業分野勉強会 リーダーの須東 博樹です



農業分野勉強会活動の現在位置

農業分野勉強会



- ・元 気象情報会社社員
- ・BMI戦略デザイナー
- ・元 ITエンジニア
- ・元 農研機構所属
- ・予報士CoP代表者



協働する 4CoP



気象予報士CoP

営農に活かす気象情報とは何か？
気象予報士の社会貢献・活躍の場を考える

のべ100回超のWeb会合！

地域やパーソナルな課題と
真摯に向合う取組み

“徹底的に現場の声を伺う活動”
を自ら実践しています！



野菜くらぶCoP

作物サプライチェーンを目指して



AURENS CoP

酪農産業を、
経営の視点で
気象情報を活かす



えひめCoP

ビジネス推進コンソーシアム

地域課題を通じて、
地域を活性する人材育成

民間主導の 季節予報(気候情報) 利活用促進

季節予報勉強会
リーダーの野津原 昭二です



気象データの 一層の活用拡大を目指して 分野を特定せずに大局的に検討

気象データの利活用拡大と
創出価値の考察勉強会
リーダーの勝山 恒男です



**扱いやすいオープンデータの
提案・提言を目指して**

**扱いやすいオープンデータの形を
探そう勉強会
リーダーの坂口 龍一です**



気象データ×IT勉強会

— 気象データを扱える人材の育成 —

月例ミーティング(オンライン)をハブに・・・

1. メンバーによる主体的な自己研鑽の実施・議論
2. WXBCテクノロジー研修の教材開発・講師担当

大野 宏之 がリーダーを務めます



再生可能エネルギーと 気象に関する話題や 意見の交換で知見を深化

再生可能エネルギー勉強会 リーダーの大竹 秀明です



関心のあるテーマに取り組める
勉強会活動に参加してみませんか？

関心のあるテーマをお持ちの方、
新しい勉強会を始めてみませんか？



気象データをビジネスに活用できる人材育成に、
皆で取り組んでます！

新しい仲間、大歓迎です！！
ご遠慮なく、どうぞお試し参加を 





新規気象ビジネス創出WGのご紹介

1. WGの目的

- ・気象データを含むデータ活用の促進と新規ビジネスの創出

2. WGの活動

①定例会合

- ・年4回程度開催
- ・参加企業の取組紹介と意見交換

(最近の主なテーマ)

- ・医薬品の製造・販売への気象データ活用
- ・気象を測る～機器開発と活用～
- ・エネルギー分野での活用
- ・WGメンバーからの悩み相談 など



定例会合の様子（2024年11月19日開催の第30回会合）

撮影：気象庁

2. WGの活動

②事例インタビュー

- ・コインランドリー向けプラットフォーム「Smart Laundry」
- ・ベテラン漁師の分身をつくる「トリトンの矛」
- ・行動につながる情報を提供する「D-Resilio」（防災）
- ・「ムヒ」で使われる気象データ
- ・列車の効率的な運行を支える気象データ
- ・「タダ電」のユニークな料金体系を支えるデータ活用
(順次追加予定)

～新電力における気象データ活用～ 「タダ電」のユニークな料金体系を支えるデータ活用

- 株式会社エスエナジー 様
- Weather Data Science合同会社 様

株式会社エスエナジーでは、毎月の電気代が5,000円まで無料になる「タダ電」サービスを提供しています。タダ電の料金設定見直しの際に、Weather Data Science合同会社による、電力使用量の需要予測と売上予測データを活用しました。また、広告出稿の要否判断や、電力使用量が予測通りに推移しているかの分析など、現在も継続的に連携しています。

今回は、エスエナジー山根様と、Weather Data Science加藤芳樹様・加藤史榮様に、取り組みの詳細についてお話を伺いました。



事例インタビューの例：株式会社エスエナジー-Weather Data Science合同会社

<https://www.wxbc.jp/exampleandinterview/>事例インタビュー第六回/

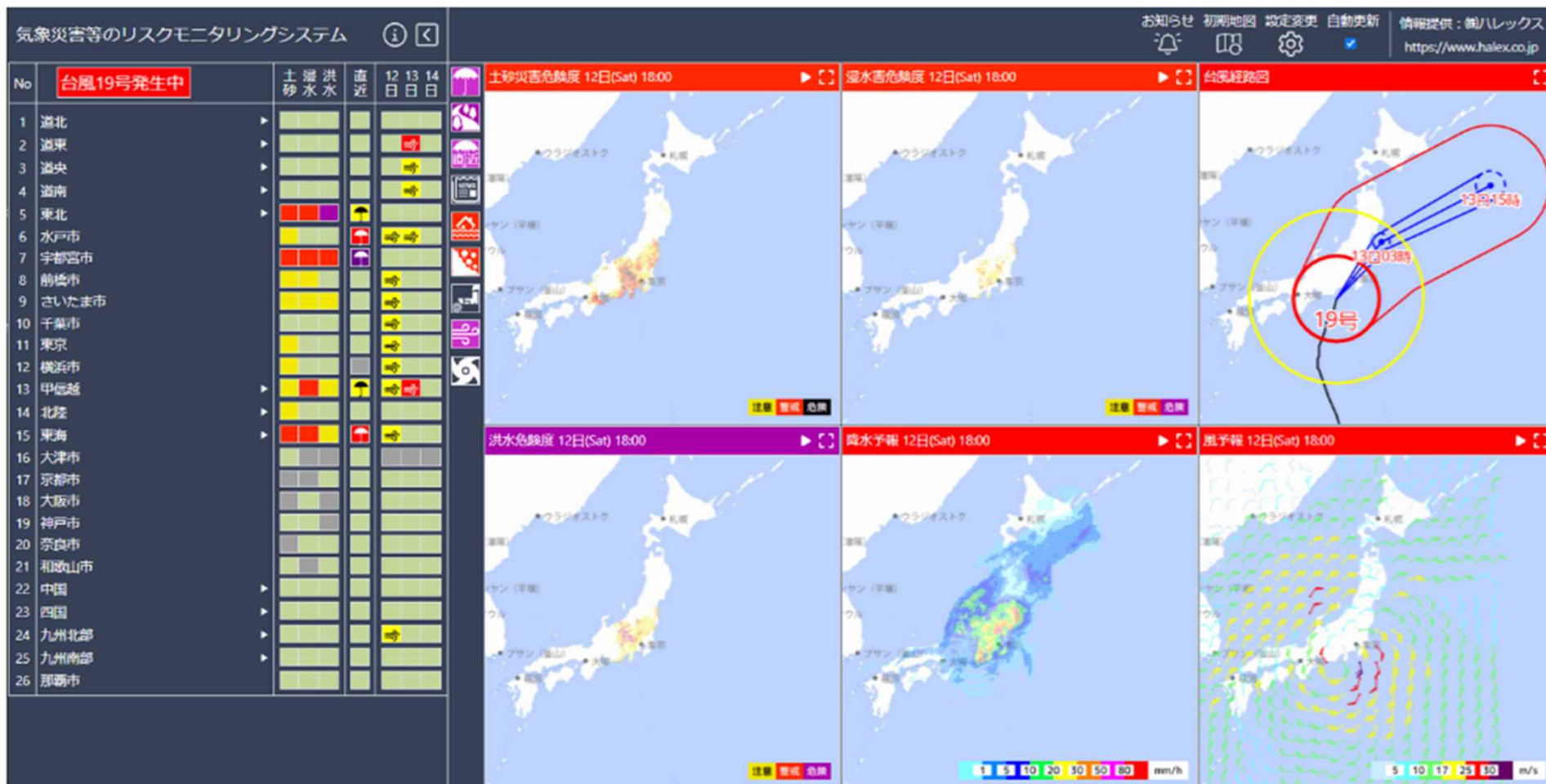
2. WGの活動

③気象関連サービス紹介

- **Weather Data Science 合同会社**
- **株式会社ウェザーニューズ**
- **日本気象株式会社**
- **一般財団法人 日本気象協会**
- **株式会社ハレックス**
- **株式会社レスキューナウ**
(順次追加予定)

「HalexForesight!」は、「気象災害情報をリスクとして可視化しお客様の防災活動を支援する」ための、気象災害リスクモニタリングシステムです。

任意地点の予測データを網羅的に自動監視し、気象災害リスクを可視化。そして気象情報を視覚化ツールで多面的に把握・確認が可能です。システムが検知したリスク情報を管理者へ通知するアラートメール配信機能など、防災管理担当者の実務を強力にサポートします。



気象関連サービス紹介の例：「HalexForesight!」（株式会社ハレックス）

<https://www.wxbc.jp/memberserviceintroduction/株式会社ハレックス/>



みなさまの参加をお待ちしています！